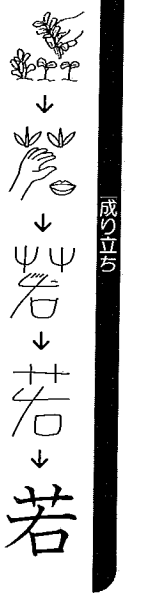
若

六年

画数 8
筆順 艹 艹 若
オン ジャク・ニャク
クン わか＝い・も＝しくは

成り立ち



「使う方の手」の意味を表した〃右〃と、草の形を表した〃艹〃とを組み合わせて作った字です。

「右手でつみ取る草」という意味の字です。

昔は、春になると、野原に出かけて行って、〃若菜〃をつんで、それを食用にしたものでした。冬の間は野菜が食べたくても、昔は無かったからです。

〃若〃は〃若菜〃のことを表した字ですが、今では単に〃わかい〃という意味に使われています。

〔若の字は、〃なんじ〃〃ごとし〃〃もし〃その他、いろいろな用法のある字である。多くは仮借による用法である。〕

使い方

▽おじさんが、「ぼくはこれでも若手では社長に一番信頼されているんですよ」と言いましたら、父は、「自信はけっこうだが、若気のあやまちをしないように」と注意していました。

▽お正月の初もうでには、神社の広い境内が老若男女でいっぱいでした。

熟語例

▽若手（仲間の中で若い方の人々のこと。若くて働きざかりの人々のこと。）

▽若気（「若い人にありがちな気持ち」の意味で、思慮分別が浅く、血気にはやる気持ちを言います。）

▽若菜（菜は「ご飯にそえて食べる物」のことですが、今は〃菜っ葉〃の意味。春の初めに芽を出して間もないやわらかな葉のことを言います。）

▽老若（老いた者も若い者も。老人や若者）

▽老若男女（老人や若者、男や女、ということで、いろいろな人がおおぜいいることを表す時に使う言い方です。古くは「ロウニャクナンニョ」と読みました。）

▽若干（〃いくらか〃〃少し〃という意味のことば）

樹

六年

画数 16
筆順 木 樹 樹
オン ジュ
クン

成り立ち

神を祭る時に使う道具（豆 384）を「並べ立てる」ことを表した〃尌〃と〃木〃とを組み合わせて作った字です。

「並び立っている木」という意味の字です。〃木〃は「立っている木」でも、「切りたおされた木」でも使われますが、〃樹〃は「地面に立っている木」だけを表して「切りたおされた木」には使いません。

また、〃立てる〃という意味に使うこともあります。例 樹立。

使い方

▽ぼくの家の近くに、果樹園があります。梨や柿など色々な果樹が植えてあって、通るたびに、良いな、と思います。ぼくの家にも果樹園があったらすてきだな、と思うのですが。

▽「寄らば大樹の陰」という言葉があります。どうせ頼るなら、大きくしっかりしたものに頼る方が良い、という意味の言葉です。よく、就職する時など、大きな会社へ行こうとする人が、こう言います。

熟語例

▽樹木（立ち木。「山には、さまざまな樹木が生えている」などというふうに、つかいます。）

▽果樹（果物のなる木）

▽大樹（大きな木）

▽広葉樹（広い葉を持つ木）

▽常緑樹（一年中、緑の葉をつけている木。松や杉など）

▽植樹（木を植えること。）

▽樹氷（霧が木の枝などについて、氷になったもの）

▽樹立（打ち立てること。「オリンピックで世界新記録を樹立した」などというふうに、つかいます。）